

受章・表彰

◆瑞宝双光章

新川吉春さん（久賀）
（元公立中学校長）



◆高専ワイヤレスIoT技術実証コンテスト

総務大臣賞（最優秀賞）

チーム名「瀬戸内無線局」（大島商船高専）
案件名「Wi・S・U・N機器と船舶基地局

による離島のための災害時通信網の確立」



▲チームを代表して町長へ報告に訪れた電子・情報システム工学専攻科2年の佐伯英日路さん④と畠山和音さん⑤

しつちよる？ やつちよる？
「ちよび塩」でおいしく運動・活動で元気に！

No. 89

どう備える？

想像を超える異常気象

「令和2年7月豪雨」と名付けられた豪雨では、九州を中心に各地で大きな被害ができました。本町においても、これまでになく雨量を観測し、土砂崩れや川の氾濫により道路が寸断されたり、家屋や田畑が浸水したりするなどの被害が多くでています。被害に遭われた皆さんが、安心して元の生活に戻れていることを願うばかりです。

それにしてもここ数年、「過去に例がない」とか「観測史上初」「50年に1度」と例えられるような大規模な自然災害が続いています。これから台風シーズンを迎える今こそ、災害に備える準備をしませんか？

新たな備え

災害には、地震のように「予測できない災害」と洪水や台風、土砂崩れのような「予測できる災害」とがあります。多くはある程度予測することが可能なため、まず事前準備としてやって欲しいのは、ハザードマップ（被害予

測地図）や防災マップでお住まいの地域の危険性を知っておくこと。さらに、避難場所や避難経路（道順や移動方法）を確認し、家族にも伝えておくことです。

各家庭に設置している防災無線は、災害等に関する情報を得るのに有効ですが、うっかり聞き逃すことも考えられます。そこで、お持ちの携帯電話やスマートフォンに町からの災害情報等が届く、防災メール配信システムに登録しておくことをおすすめします。

また、新たな備えとして「非常持ち出し品」の中にマスク、消毒液、体温計を追加し、避難所等での感染症対策に気を配ることも大切です。

周防大島町防災メール配信システムへの登録

次のメールアドレスに空メールを送信し、返信された内容に従って登録すれば完了です。

e-suo-oshima@xpressmail.jp



小さくて大きい一人一人の力

今回、本町で起こった豪雨災害での学びのひとつが、近隣や地域の助け合いの力です。東和地区では、土砂災害によりいくつかの道路が寸断され、孤立する地域も発生しました。そんな時、安否確認のため連絡した電話の向こうで、「近所総出で、浸水した家の泥かきをしています。食料は備蓄があり、足りない家庭にも配れそうなので大丈夫です。」と力強く答える声がありました。また、早朝から出勤し、がれきや土砂を懸命に運ぶ消防団の姿に、戦国大名・毛利元就が残した「3本の矢」の逸話を重ね、まさに、結束する事で強い力が発揮できるという事を実感し、近隣や地域との日頃からのつながり、絆が災害時にこそ活かされるということを再確認しました。改めて、災害への備えの一つとして、近所つきあいや自治会の輪を活用し、支え合いの自主防災に取り組みませんか？

●ちよび塩クイズ

非常食にもよく使われるカップラーメン。しょう油味1食（77g）の食塩量は約5gですが、その内スープに含まれる食塩は約何グラムでしょう。（答えは、13ページに掲載）

- ①0.5g ②1.5g ③2.5g

健康増進課健康づくり班 ☎73-5504
総務課消防防災班 ☎74-1000